

工事の競争入札の公正な執行に努めたい。

### 〈町有林管理について〉

**問** 町有林管理対策特別委員会からの提言事項について、検討・計画・実施などその後の取り組みはどのようになっているか。

**答** 去る8月末に、林業の先進地である久万高原町に担当課職員2名を派遣し研修・調査をさせている。その結果、久万高原町の町有林管理台帳を参考として、現在、台帳の整備にとりかかっている。

次に、育林施業管理の全体計画および植林、除間伐、皆伐などの実施計画は、県の策定した南予地域森林計画と本町の鬼北町森林整備計画および町有林森林施業計画などがあるので、これらの計画を参考として対応できるものと思っている。

また、管理担当職員の配置については、兼任により事務を進めていく。作業道の整備は、産業課所管の直営班の活用により対応することとしており、中野川町有林の作業道補修は、既に実施済みである。

### 問 松くい虫被害対策について。

**答** 日吉・父野川町有林の松くい虫被害に係る伐採計画については、去る5月の議会特別委員会の現地

調査の時点で、約20%程度の被害があるものと推定され、早期対策の提言をいただき、6月補正予算で伐採経費等を計上、議決されたところである。

その後の対応は、同町有林は水源涵養保安林に指定されており、9月期での保安林伐採許可申請を県知事に提出し、10月に伐採許可がおりている。

この保安林は、森林法の規定によつて、伐採後2年以内に植林をしなければならぬと義務づけられている。

既に実施した毎木調査では、松の材積量は980<sup>m</sup>ほどあり、1<sup>m</sup>当たり1万2千円の市場価格が予想され、その販売収入は、1千176万円の売り上げとなるが、市場経費および伐採搬出経費（1<sup>m</sup>当たり9千円）を差し引くと、町の利益は、108万円程度が残ることになる。

ところが、これに対して、この保安林は9・8haであり、仮にヒノキの植林を全てすると、予想される1年目の造林経費は、地ごしらえ、植付け、苗木代、下刈りなどに1千257万円の費用がかかることになり、更に2年目から7年間の下刈り経費は1千742万円が必要となり、この間の育林

経費の総額は2千999万円が予想される。

議員の指摘は、十分承知をしているが、現在の厳しい財政状況を考えると、後年度への多額の負担は差し控えるべきという観点から、伐採計画の変更はやむを得ないものと思っている。

### 〈第3セクターの事業について〉

**問** ヒマワリ試験栽培事業の平成19年度実績見通しについて。

**答** この事業は、1997年に開催された議決された京都議定書に基づき、地球温暖化防止対策事業の一環として進められているものである。

今年、発芽状況も良く順調に生育をしていたが、7月14日の台風4号、8月2日の台風5号により、倒伏被害を受け残念ながら40キロの収穫にとどまっている。油糧生成については、12月末に予定されている。

### 問 今後の取り組みについて。

**答** 現在借り受けている水田はウターン就農者が農業経営を行うため使用するよう協議を進めており、バイオマス事業は、本年度終了する予定である。

**問** グリーンファーム安森の残余財産の処理について。

**答** グリーンファーム安森は、会社法第504条第3項の規定に基づき残余財産の株主に対する割り当てが決められ、8月末にそれぞれの株主に残余財産の分配がなされ、その後、株主総会で決算の承認を得て、9月に清算終了登記が行われている。

なお、鬼北町への残余財産の分配額については、9月定例議会の一般会計補正予算で説明したとおり、194万3千325円である。

## 井上 博 議員

### 〈日吉中学校の今後の対応について〉

**問** 現在の生徒数は何人か。

**答** 1年生が18人、2年生が10人、3年生が16人、合計44人が在学をしている。

**問** どのような部活動があるか。

**答** 男子が剣道と軟式テニス、女子が剣道と軟式テニスおよびバレーボールの活動をそれぞれ行っている。

**問** 日吉中学校運営に係る町の負担金はいくらか。

**答** 平成19年度の予算額では、569万7千円である。ただし、この内には、アスベスト除去工事分212万円が含まれており、平年ベースでは、360万円程度であ